

個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	津山東高等学校			所在地	津山市林田1200番		
敷地面積	72,724.93 m ²			棟数	54 棟 (計画記載対象 14 棟)		
延床面積	14,567.45 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 5強 津波 - 浸水 -							
建築規制	第一種低層住居専用地域 建ぺい率50%、容積率100%						
エネルギー使用量 (2016年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	420,034 kWh	2,269 m ³	8,095 m ³	6,704 ℓ			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 津山市避難所 協定による避難所						

1 施設内建物の概況

名称	体育館棟(1棟)32-1	食物調理科棟(57-1棟)33-1	家庭科実習室棟(63棟)41
築年(西暦)	1965年	1970年	1974年
構造	鉄骨造 1階	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	707.81 m ²	356.40 m ²	403.08 m ²
延床面積	778.21 m ²	712.80 m ²	806.15 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	集団調理室 第2調理実習室	食物実習室 第1調理室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	/	適
	中性化 ※3		不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室棟(95棟)54	普通教室棟(99棟)58	普通教室棟(100棟)59
築年(西暦)	1984年	1986年	1986年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	341.00 m ²	174.60 m ²	438.92 m ²
延床面積	1,372.52 m ²	654.75 m ²	1293.93 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室 音楽教室 講義室	普通教室	普通教室 社会科教室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 消火設備	—	空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室棟(101-1棟)60	管理棟(101-2棟)60-2	管理棟(101-3棟)60-3
築年(西暦)	1986年	1987年	1988年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	225.60 m ²	257.53 m ²	212.28 m ²
延床面積	676.80 m ²	781.16 m ²	636.84 m ²
主要な用途 (室名等)	昇降口 成人看護実習室	玄関ホール 進路資料室	コモンホール 視聴覚室 書道教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果 I_s 値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	管理棟(102棟)61	特別教室棟(106棟)63	武道場棟(129棟)68
築年(西暦)	1987年	1988年	2004年
構 造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 2階
建築面積	599.90 m ²	555.72 m ²	451.15 m ²
延床面積	1,837.14 m ²	1,667.15 m ²	503.16 m ²
主要な用途 (室名等)	校長室 事務室 会議室	簿記文書実務実習室 電子計算機実習室	武道場
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 消火設備	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	多目的活動棟(130棟)69	寄宿舍棟(92棟)52	
築年(西暦)	2017年	1984年	年
構造	木造1階	木造2階	造階
建築面積	356.31 m ²	275.40 m ²	m ²
延床面積	356.31 m ²	500.38 m ²	m ²
主要な用途 (室名等)	多目的室 合宿室	寄宿舍	
主要な設備 (屋外を含む)	給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備	
利用状況	高	高	
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
体育館棟(1棟)32-1	長寿命化改修を行う。
食物調理科棟(57-1棟)33-1	予防保全を図る。
家庭科実習室棟(63棟)41	予防保全を図る。
普通教室棟(95棟)54	・設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。 ・長寿命化改修を行う。
普通教室棟(99棟)58	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
普通教室棟(100棟)59	・設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。 ・長寿命化改修を行う。
普通教室棟(101-1棟)60	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
管理棟(101-2棟)60-2	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
管理棟(101-3棟)60-3	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
管理棟(102棟)61	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
特別教室棟(106棟)63	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
武道場棟(129棟)68	予防保全を図る。
多目的活動棟(130棟)69	予防保全を図る。
寄宿舎棟(92棟)52	設備等の定期更新を行う。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(1棟)2017年度設計・2018年度施工
(95棟、99棟)2022年度以降設計・施工
(100棟、101-1棟、101-2棟、101-3棟)2024年度以降設計・施工
(102棟)2026年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
体育館棟(1棟) 32-1	長寿命化改修	設計	施工 2								
食物調理科棟 (57-1棟)33-1	予防保全	予防保全を図る。									
家庭科実習室 棟(63棟)41	予防保全	予防保全を図る。									
普通教室棟(95 棟)54	設備等の 定期更新					トイレ 洋式化	屋上 防水				
	長寿命化改修										設計・施工 2
普通教室棟(99 棟)58	設備等の 定期更新						屋上 防水				
	長寿命化改修										設計・施工 1
普通教室棟 (100棟)59	設備等の 定期更新					トイレ 洋式化	屋上 防水				
	長寿命化改修									設計・施工 2	
普通教室棟 (101-1棟)60	設備等の 定期更新								屋上 防水		
	長寿命化改修									設計・施工 4	
管理棟(101-2 棟)60-2	設備等の 定期更新								屋上 防水		玄関 改修
	長寿命化改修									設計・施工 101-1棟に含	
管理棟(101-3 棟)60-3	設備等の 定期更新								屋上 防水		
	長寿命化改修									設計・施工 101-1棟に含	
管理棟(102棟) 61	設備等の 定期更新				受電 設備				屋上 防水		
	長寿命化改修										設計
特別教室棟 (106棟)63	設備等の 定期更新			トイレ 洋式化							屋上防水・外壁改修 エアコン
武道場棟(129 棟)68	予防保全	予防保全を図る。									
多目的活動棟 (130棟)69	予防保全	予防保全を図る。									
寄宿舎棟(92 棟)52	設備等の 定期更新			屋上 防水							外壁改修

4. 概算費用

・総額 13億円(長寿命化改修 12億円、設備等更新 1億円)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
H31.3	特別教室棟(106棟)において、設備等の定期更新を追加
R2.3	管理棟(102棟)において、設備等の定期更新を追加
R3.11	普通教室棟(95棟及び100棟)において、設備等の定期更新を追加
R4.3	普通教室棟(95棟,99棟,100棟)、特別教室棟(106棟)及び寄宿舍棟(92棟)において、設備等の定期更新を追加及びスケジュールを変更
R6.3	普通教室棟(101-1棟)及び管理棟(101-2棟,101-3棟,102棟)において、設備等の定期更新を追加
R7.3	特別教室棟(106棟)及び寄宿舍棟(92棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R8.3	・管理棟(101-2棟)において、設備等の定期更新を追加 ・普通教室棟(95, 99棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更